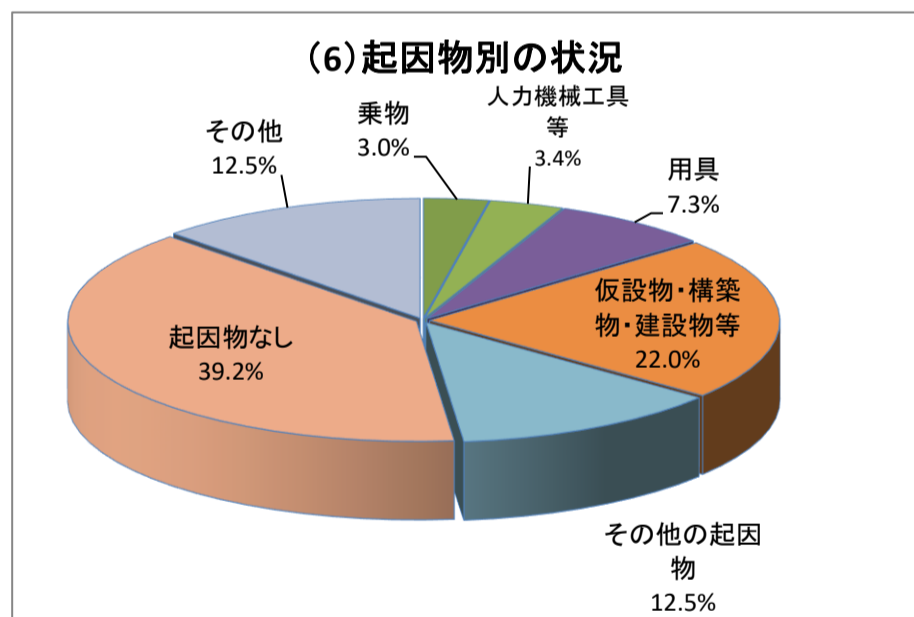
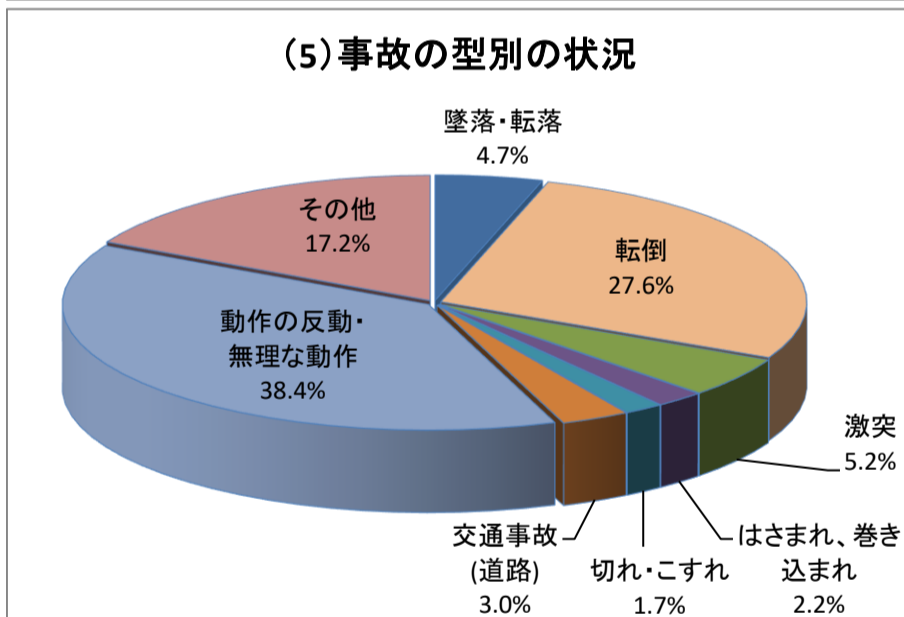
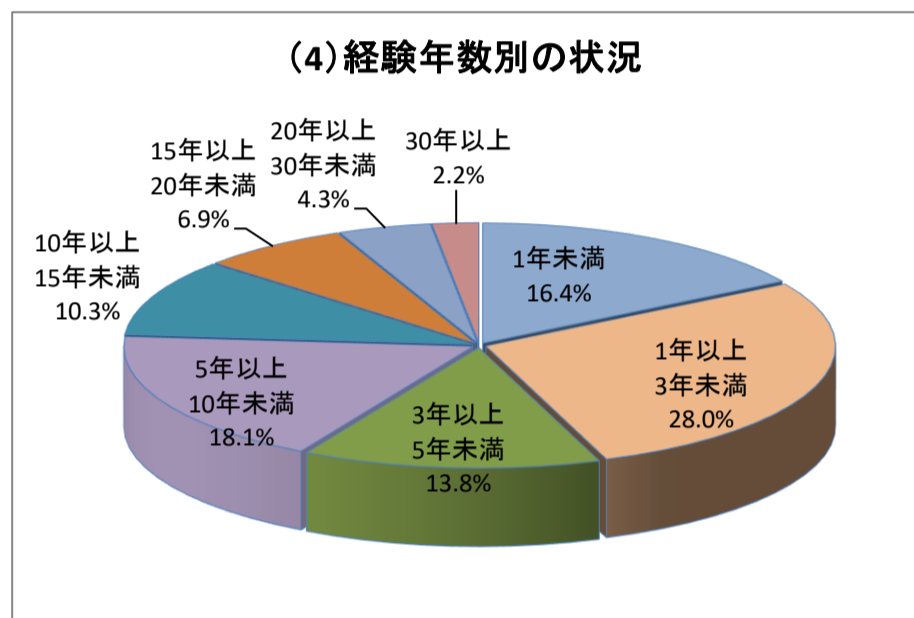
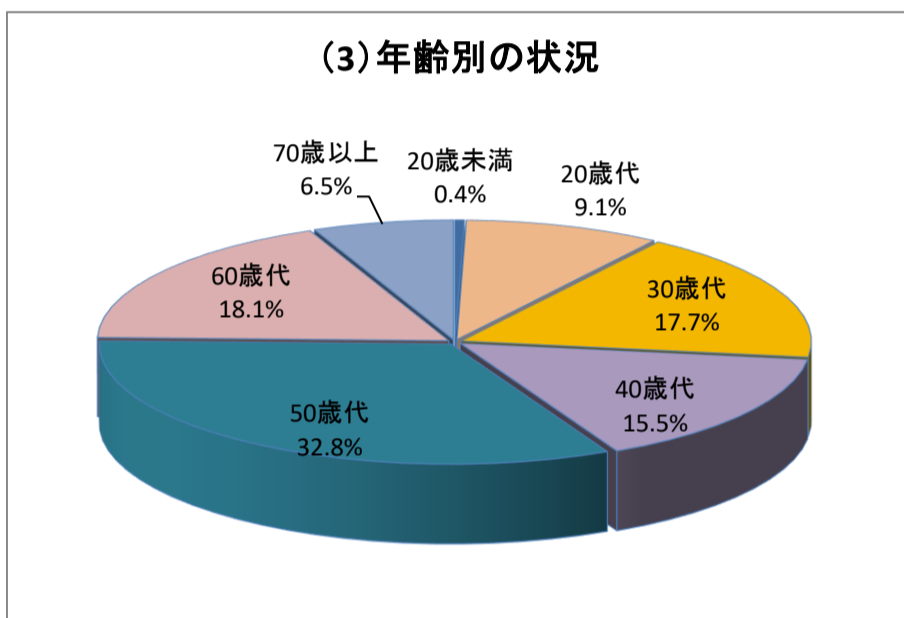
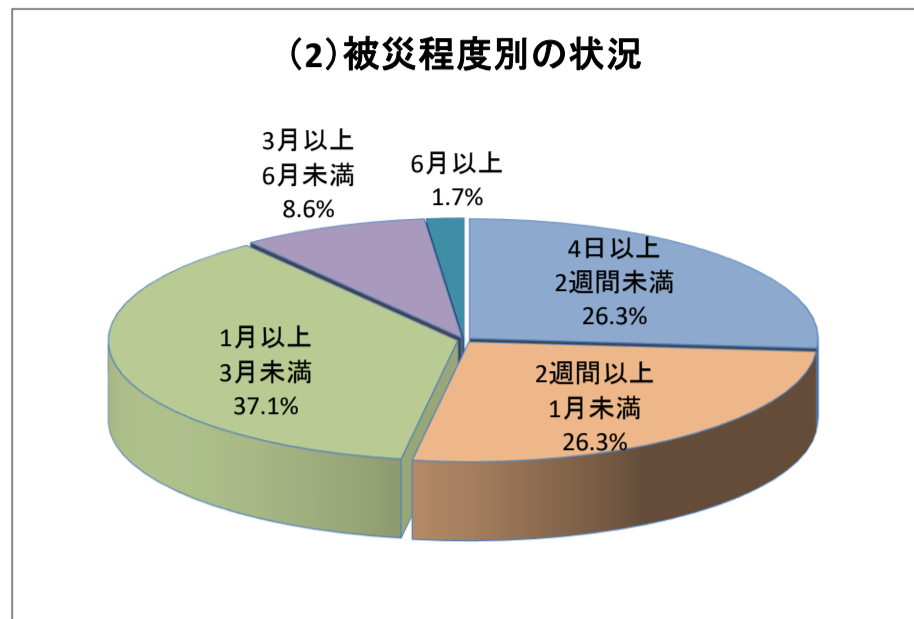
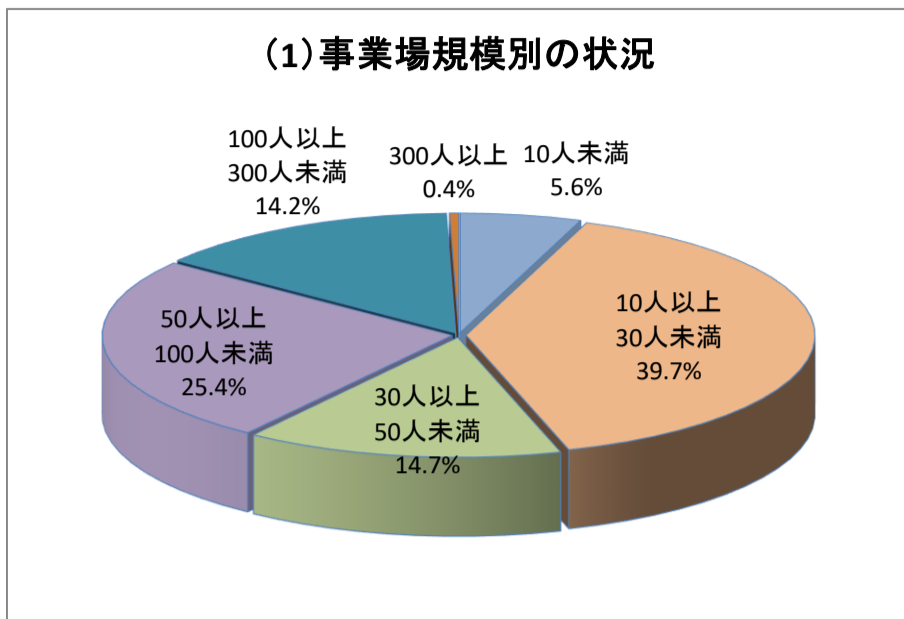


17-3.社会福祉施設における労働災害発生状況(令和2年)

(社会福祉施設：232人)



1. 事業場規模別では、「10人以上30人未満」の事業場が39.7%と最も多く、次いで「50人以上100人未満」が25.4%、「30人以上50人未満」14.7%の順となっている。50人未満の事業場が60.0%を占めている。
2. 被災程度別では、「休業1月以上3月未満」が37.1%と最も多く、次いで「4日以上2週間未満」「2週間以上1月未満」がそれぞれ26.3%の順となっている。
3. 年齢別では、50歳代が32.8%と最も多く、次いで、60歳代18.1%、30歳代が17.7%の順となっている。60歳以上が24.6%となっている。
4. 経験年数別では、「1年以上3年未満」が28.0%と最も多く、次いで「5年以上10年未満」が18.1%、「1年未満」が16.4%の順となっている。
5. 事故の型別では、「動作の反動、無理な動作」が38.4%（このうち30.3%が腰痛を発症している。）と最も多く、次いで「転倒」が27.6%となっている。
6. 起因物別では、「起因物なし(人など)」が39.2%（このうち事故の型が「動作の反動・無理な動作」は78.0%）と最も多く、次いで「建設物・構築物・仮設物」が22.0%の順となっている。